

会の趣旨

これからの算数・数学教育を考える会は、京都府・市を中心に全国の方々と、算数・数学教育のあり方について議論・交流する会です。

日頃の学校現場での算数・数学の授業実践を持ち寄り、指導の改善につなげたり、新しい教育内容・方法の考案・検証を行っていくことを目的としています。

算数・数学教育に関心のある先生、教員を目指す学生・高校生、一般の方々のご参加をお待ちしています。

日時

2021年2月19日（金）

18:00～19:00 事例発表

19:00～19:30 教育最新事情

プログラム **Zoom**を利用したオンライン開催

18:00～18:30 事例発表1

数学×体育の教科横断を目指した中学生への授業実践
横井 歩（京都市立松尾中学校 教諭）

18:30～19:00 事例発表2

表計算ソフトを活用したデータの分析の授業実践
山本 健司（京都教育大学附属高等学校 教諭）

19:00～19:30 教育最新事情

デジタル教科書は算数・数学教育の何を変え／誰を救うのか
黒田 恭史（京都教育大学教育学部数学科 教授）

対象 小・中・高等学校教員、学生、一般 **定員100名**

申込先

URL(QRコード)にアクセスして
お申し込みください。 **申込締切：2月10日**

<https://forms.gle/DuxiaoW6BmFKoF9V6>



問い合わせ

黒田恭史（京都教育大学）
ykuroda@kyokyo-u.ac.jp

※参加申し込みができない場合は、上記の問い合わせ先までご連絡ください。

第9回

「これからの算数・数学教育を考える会」